

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 4年 6月 17日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者

住所 静岡県下田市吉佐美1018-1

氏名 丸三工業株式会社

代表取締役社長 田中 豊

電話番号 0558-23-0303

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	丸三工業株式会社
事業場の所在地	静岡県下田市吉佐美1018-1
事業の種類	総合工事業・舗装工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日 (1年間)

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,719 t	全処理委託量	3,719 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3,716 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(日本工業規格 A) 

4.6.17

環境省

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類 : がれき)

(産業廃棄物の種類)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類:木くず)

①排出量 15.06t	項目 実績値 15.06t	自ら中間処理した量 ④ 15.06t	自ら中間処理した後の残さ量 ⑤ 15.06t	自ら中間処理により減量した量 ⑥ 15.06t	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投げ入れ処分した量 ⑨ 15.06t	自ら直接再生利用した量 ② 15.06t	自ら直接再生利用した後再生利用した量 ③ 15.06t
②+③自ら再生利用を行った量 15.06t	④のうち熱回収を行った量 15.06t	⑤自ら熱回収を行った量 15.06t	⑥自ら中間処理により減量した量 15.06t	⑦自ら中間処理により減量した量 15.06t	⑧自ら埋立処分又は海洋投げ入れ処分を行った量 15.06t	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投げ入れ処分した量 15.06t	⑩自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t
⑤自ら熱回収を行った量 15.06t	⑥自ら中間処理により減量した量 15.06t	⑦自ら中間処理により減量した量 15.06t	⑧自ら埋立処分又は海洋投げ入れ処分を行った量 15.06t	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投げ入れ処分した量 15.06t	⑩自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t	⑪自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t	⑫自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t
⑩全処理委託量 15.06t	⑪優良認定処理業者への処理委託量 15.06t	⑫再生利用業者への処理委託量 15.06t	⑬熱回収認定業者への処理委託量 15.06t	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 15.06t	⑮自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t	⑯自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t	⑰自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t
	⑱自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t	⑲自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t	⑳自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t	㉑自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t	㉒自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t	㉓自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t	㉔自ら直接再生利用した後再生利用した量 15.06t

(第2面)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：魔プラスチック)

不要物等発生量	有機物量											
		自ら直接再生利用した量 ②										
		自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③										
			自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧									
				自ら中間処理した後再生利用業者への処理委託量 ⑩								
					自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑪							
						自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑫						
							自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑬					
								自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑭				
									自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑮			
										自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑯		
											自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑰	
												自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑱

(第2面)

## 計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 金属くず)

### (産業廃棄物の種類：金属くず)

### （産業廃棄物の種類：混合廃棄物）

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。